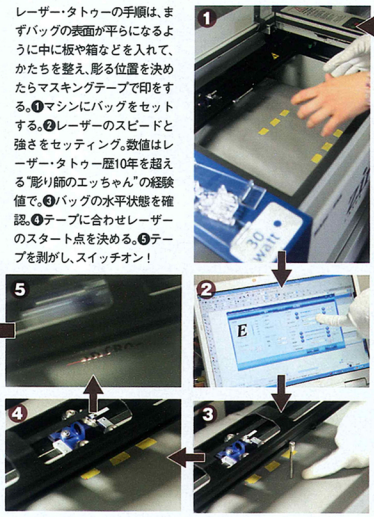
mono の

完成よっ!!

秋田 悦子さん

こちらの美しい女性は、女だてらにレーザー・タトゥーの名人である。niconeruレーザースタジオ代表、"彫り師のエッちゃん"こと、秋田悦子さんです。粘土教室を主宰するクレイコーディネーターとしても活躍中！



レーザー・タトゥーの手順は、まずバッグの表面が平らになるように中に板や箱などを入れて、かたちを整え、彫る位置を決めたらマスキングテープで印をする。❶マシンにバッグをセットする。❷レーザーのスピードと強さをセッティング。数値はレーザー・タトゥー歴10年を超える"彫り師のエッちゃん"の経験値で。❸バッグの水平状態を確認。❹テープに合わせレーザーのスタート点を決める。❺テープを剥がし、スイッチオン！

コイツを頼む!!

鈴木 幸生さん

この人が"濱モノ"の仕掛人にして、U.S.M.Corporation代表。"濱のスーさん"こと、鈴木幸生さんです。会社名からも察せられる通り（USMCは、アメリカ海兵隊の略称）、ミリタリーをこよなく愛する男なのだ。

濱 MONO

niconeru laser studio

レーザー彫りでいろんな素材が彫れてしまうのだ。左の写真のように、木やガラス、アクリルなどに文字だけじゃなくて写真もOK。ゴム印だってできる。アナタが彫りたいモノに彫りたいかたちを注文できます。詳細、注文はHPへ。http://laser.niconeru.com

レーザーで彫ってます!!

TACHIO M12G1
Bucket Tote Bag：SKULL TATTOO 【各限定5個】 価格3万450円

レーザー・タトゥー入りはモノ・ショップ限定の国産高級車のシートに使用されている、クロム鞣しの良質なドイツ製牛革を贅沢に使用。一枚素材（底ハギ無）で仕上げたかなりいけてるトートなのだ。内側はぐるっと一周するように7つのポケットを配した"オーガナイズドポケット"。実に使い勝手もよろしいのだ。カラー：ブラック×カーキ、グレー×オリーブ／本体サイズ：W500×H350×D180㎜／素材：牛革（本体）、綿9号パラフィン加工帆布（内側）

フラップに付けたボタンフォックで口元を閉じられる。サイドに付属した革製ストラップは、キーなどを繋いでおくこともできるし、これで口元を閉じることも可能なのだ。

触れてみると、ほんとに少しだけ凹んでいるのがわかります。彫ったとこだけスエードみたいになって、この仕上がり、実にいい感じでしょう。新たな発見ですよ！　ただ、レザーにレーザーって言いたいだけというのとは違うんですよ。

というわけで、このスカルが彫られたレザーバッグを濱モノ・アイテムのひとつとしてラインナップすることになりました。レザーは国産高級車のシートに使われているクロム鞣しの実にソフトな牛革。肌触りは抜群にいいんですが、これだけだとソフトすぎるんで、内側にパラフィン加工された高密度織の79Aキャンバスを充てて、持ったときの感触がよくなるように仕上げてあります。

カラーはグレーとブラックの2種類。くっきりと柄の出るグレーもいいですけど、光の当たる具合で結構表情が変わるブラックも捨てがたいです。どっちを選ぶかと言われると……、とまあ、こうやって悩ませてくれるところも、買う楽しみのひとつってことで。とにかく、どちらも限定5個ってことなんで、そこんとこもよろしく。

なんにしても、レザーとレーザーの相性がいいこと、これぱっかりは認めないわけにはいかないんじゃないでしょうか。どうですか？

●ご購入はmono shop☎03-5385-5801　http://www.monoshop.co.jp